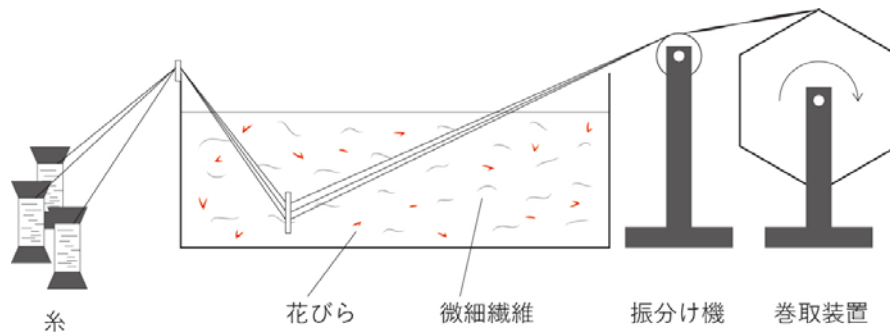


装飾糸及びその製造方法

和紙の原料である楮（コウゾ）と花びらを連続的に絡めた装飾糸です。花びらの形を残しながら、しかも飛び出ることなく絡めていくため、織物の緯糸としても使用することができます。

〈技術概要〉

水槽に処理液を入れ、この処理液に有機合成糊材、微細繊維（楮）、花びらを分散させながら攪拌します。処理液内に数本の糸を通過させることによって、糸に微細繊維が花びらを伴って連続的に絡みつきます。この数本の糸を集束して乾燥し、一本の装飾糸とするものです。糊材としては水溶性高分子材料を用い、花びらは紅花や菊などを用いました。



装置図



装飾糸（紅花入り）



織物（帯地）

〈想定応用例〉

糸には、薄く、小さいものであれば様々なものを混ぜ込むことができます。

◎紅花…山形ならではの商品に。帯、バッグ、テーブルセンターなど。染色したものより色持ちが良いのも特徴です。

◎ラベンダー、炭パウダーなど…消臭、芳香の機能を付加できます。

【担当部署】企画調整部連携支援室 デザイングループ